

T20230228_03_Coherent

Coherent、C+L バンド向け超ワイドバンドテレメトリモジュール

Coherent Corp は、次世代 C+L バンド光トランスポートシステム向けに特別に設計された超ワイドバンドテレメトリモジュール、光チャンネルモニタ(UWB-OCM)を発表した。



光通信ネットワークは、C バンド光ファイバで理論的伝送容量限界に近づきつつある。ネットワークオペレータは、したがって、伝送を L バンドに広げようとしている。これが、C バンドと L バンドの両方をカバーする超ワイドバンド製品の需要を後押ししている。Coherent の新しい UWB-OCM は、12THz 以上を掃引する可変フィルタベースであり、次世代 ROADM(再構成可能光 Add/Drop マルチプレクサ)システムの完全 C+L バンドを簡単にカバーする。新しい UWB-OCM は、2022 年 9 月に発表した超高分解能光チャンネルモニタ(UHR-OCM)を補完する。

テレコム担当、エグゼクティブ VP、Dr. Beck Mason は、「装置ベンダとネットワークオペレータは、C+L バンド ROADM 要件を定義しようと急速に動いており、当社は、製品開発ロードマップを調和させるために各社と密接に協働している。超ワイドバンドと超高分解能光チャンネルモニタの両方で、Coherent は、そのような製品では市場で最も差別化されたポートフォリオを有している」とコメントしている。

UWB-OCM は、超高精度を達成している。これはわずか数 GHz の狭線幅を特徴とする独自の可変フィルタによるものである。このフィルタは、内製開発の新しいウエファスケール可変エタロン技術に基づいており、これにより UWB-OCM は、コスト効果よく高性能を達成している。UWB-OCM モジュールには光スイッチが内蔵されているので、ROADM または増幅器ノードで 4 までのモニタリングポイントで周期的に繰り返す。

Coherent は、ROADM や光ラインサブシステム(OLS)アプリケーション向けにコンポーネント、モジュール、集積ソリューションの完全ポートフォリオを提供している。これらに含まれるのは、波長選択スイッチ(WSS)モジュール、光増幅器、光モニタリングモジュール、パッシブオプティクスである。